Creative Enzymes®

ネイティブヒトアルカリフォスファターゼ

Cat. No. NATE-0057

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルカリフォスファターゼ（ALP、ALKP、ALPase、Alk Phos）（EC 3.1.3.1）は、ヌクレオチド、タンパク質、アルカロイドなどの多くの種類の分子からリン酸基を除去する役割を持つ加水分解酵素です。リン酸基を除去するプロセスは脱リン酸化と呼ばれます。名前が示すように、アルカリフォスファターゼはアルカリ性環境で最も効果的です。時には基本的なフォスファターゼと同義で使用されることもあります。
用途	アルカリフォスファターゼは、ELISA、ウエスタンブロッティング、組織化学的□出のために抗体や他のタンパク質と結合するために使用されます。これは、タンパク質や核酸の脱リン酸化に日常的に使用されます。高感度が要求される場合には、タンパク質ラベリングにも使用されることがあります。アルカリフォスファターゼは、自己連結を防ぐためにDNAまたはRNAの5′末端を脱リン酸化するためにも使用されることがあります。脱リン酸化後、DNAまたはRNAは放射性標識リン酸（T4ポリヌクレオチドキナーゼを介して）でタグ付けすることもできます。
別名	アルカリフォスファターゼ; ALP; ALKP; ALPase; アルクフォス; EC 3.1.3.1; アルカリフォスホモノエステラーゼ; グリセロフォスファターゼ; フォスフォモノエステラーゼ

製品情報

種	人間
由来	ヒト胎盤
EC番号	EC 3.1.3.1
CAS登□番号	9001-78-9
活性	> 10 ユニット/mg 固体（グリシンバッファー中）
代謝□路	葉酸生合成、特定生物のバイオシステム; 葉酸生合成、保存されたバイオシステム; 代謝□路、特定生物のバイオシステム
機能	アルカリフォスファターゼ活性; アルカリフォスファターゼ活性; 加水分解酵素活性; 金属イオン結合
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 10.4の条件下で1分あたり1μmoleの4-ニトロフェニルリン酸を加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C